

ANNUAL REPORT 2016

2016.2.1 - 2017.1.31



特定非営利活動法人

ピースウィンズ・ジャパン

本部事務所

〒720-1622 広島県神石郡神石高原町近田1161-2 2F
TEL: 0847-89-0885 / FAX: 0847-82-2949

東京事務所

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2-41-12 富ヶ谷小川ビル 2F
TEL: 03-5738-8020 / FAX: 03-3465-2112

佐賀事務所

〒840-0831 佐賀市松原1-3-5 ゼロワン佐賀ビル 6F
TEL: 0952-20-1607 / FAX: 0952-20-1608

E-mail: meet@peace-winds.org

Website: <http://peace-winds.org>

ピースウィンズ

検索



ピースウィンズ・ジャパン



@PeaceWindsJapan

年次報告書

特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン



ANNUAL REPORT 2016

2016.2.1 - 2017.1.31

Contents

P.03	TOPICS / 挨拶
P.04	支援事業マップ
P.06	駐在員の1日
P.07	受益者の声
P.08	活動報告
09	イラク(シリア) / パレスチナ・ガザ
10	アフガニスタン / ウガンダ
11	南スーダン / ケニア / 東ティモール
12	ハイチ / スリランカ
13	ミャンマー / ネパール / モンゴル
14	熊本 / 東北
15	ピースワンコ / 地域再生
P.16	支援方法
P.18	企業や団体からのご支援
P.19	団体概要
P.20	会計報告

自然災害に備え、ヘリで訓練をするPWJのレスキュー隊員

いま、この瞬間も、
中東で、アフリカで、
アジアで、そして日本で、
ピースウィンズ・ジャパンの
スタッフたちが、
さまざまな課題解決の
最前線に立っています。

Topics in 2016

設立から21年目を迎えた2016年度も、
より良い社会を実現するため、
挑戦とイノベーションを合言葉に
さまざまな事業に取り組みました。

- 2月 団体設立20周年
佐賀県と進出協定締結
- 4月 広島県内の殺処分対象犬の全頭引き取りを開始

熊本地震で被害を受けた
熊本県の益城町などで緊急支援を開始
- 5月 瀬戸内海の無人島・豊島で
ゲルハルト・リヒターの作品を一般公開
- 6月 日経ソーシャルイニシアチブ大賞受賞の表彰式
- 7月 干ばつ被害を受けたエチオピアで調査開始
- 8月 南スーダン難民が押し寄せるウガンダで調査開始
- 9月 SEKAI NO OWARIとの共同プロジェクトを開始
- 10月 ハリケーン被害を受けた中米ハイチで緊急支援を開始

- 12月 ウガンダの難民居住地区で水・衛生支援事業を開始

ご挨拶

2016年度のピースウィンズ・ジャパン(PWJ)の活動を
まとめた年次報告書が完成しました。日頃の温かいご
支援とご協力に対し、この場をお借りして厚く御礼申し
上げます。

イラクでシリア難民など150万人以上を支援。熊本地
震でレスキュー隊と災害救助犬が出動。南スーダン難
民キャンプに給水タンクを設置。広島県で殺処分寸
前だった犬たち全頭を保護。佐賀県の伝統工芸職人
の活動を支援。地域の特産品やデリカのショップを
運営——。これらは、PWJが2016年度に取り組んだ
活動の、ほんの一部です。

活動の幅広さを知った方から、PWJは何をする団体な
のか、と聞かれることがあります。私は、「社会課題の解
決」と答えます。根底にあるのは、政府だけが公益を引
き受けるのではなく、私たちのような民間組織も公益
の実現に大きな役割を担うべきだ、という思いです。
PWJのスタッフはこの思いを胸に、各々の支援地で汗
を流しています。

21年前にイラクで旗揚げしたPWJは、海外の人道支援
で積み上げてきた経験を国内でも生かすべく、「国際
協力の団体」から、様々な分野の課題に挑む「総合
NGO」への脱皮を図ってきました。2016年度は、そんな
取り組みの一つである捨て犬の保護・譲渡事業などが
評価され、「日経ソーシャルイニシアチブ大賞」を受賞す
ることができました。団体規模も海外現地スタッフを含
めると約300人に拡大し、活動を支えて下さるサポー
ターの皆様も大きく増えています。

2017年度はその歩みをさらに加速させ、社会に変革を
もたらすための土台を意味する「ソーシャルイノベー
ション・プラットフォーム」への進化を目指します。ま
た、緊迫化する朝鮮半島の動きを見据えた対応準備
や、大規模災害への備えも怠りなく進めます。今後も社
会に役立つ存在となれるよう、スタッフ一同、一丸と
なって尽力していく所存です。引き続き、ご支援とご協
力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2017年5月
代表理事兼統括責任者
大西 健丞



1,783,141 people

35,956families

38 organizations

殺処分寸前で保護され、
災害救助犬になった夢の丞

東ティモールで2016年からPWJ駐在員として奮闘する、
恵比澤優紀の1日をご紹介します！

Support for Making
Specialty coffee



Since 2003

One Day in East Timor

私たちPWJは2003年から
東ティモールのレテフォホというところで、
コーヒーの生産を支援しています。
レテフォホは熱帯高地で昼夜の寒暖差が激しく、
高品質なコーヒーができる条件に恵まれた環境です。
PWJは栽培から精製方法まで生産者を指導し、
首都ディリではコーヒーの味を
自ら評価できる人材の育成を進めています。
現地政府にも働きかけ、コーヒーが国の産業として
根付くことを目指しています。

恵比澤 優紀 Yuki Ebizawa
35歳。静岡県清水区出身。大学卒業後、
福祉施設などで勤務。発展途上国で
フェアトレードの影響を目の当たりに
し、2015年3月からPWJ職員。

東ティモールって？

ティモール島をインドネシアと二分した東側半
分。2002年に独立したばかりで、いまま最貧
国の一つとされています。人口約120万人、面
積は長野県と同じくらいです。公用語はテトゥ
ン語、ポルトガル語。通貨は米ドルです。日本と
の時差がありません。(写真はレテフォホ)



生産者訪問 8:00

コーヒー豆の収穫状況を確認するため、PWJが支援する生産者
の圃場へ。木になる鮮やかな赤い実は、さくらんぼにそっくり。
「コーヒーチェリー」と親しまれています。生産者の皆さんは一つ
ひとつ手で実を摘みとり、ぎっしりと実を積んだカゴを背負って
山道をのぼりおり。

昔はコーヒーの買取価格が安くて生活が苦しかったけれ
ど、今は少し余裕のある生活ができています。PWJの求
める品質のものを作るのは大変ですが、より多くの人に美
味しいコーヒーを楽しんでもらうために頑張っています。

フェリペ・バボさん (59才)
コーヒー生産歴45年



取引 19:30



この日は東ティモールでコーヒーの買
い取り・輸出を行う会社を訪問。近年
レテフォホ産のコーヒーは海外でも認
知度が高まっています。どのような
コーヒーが市場で求められているの
かなど意見交換し、さらなる品質向上
を目指します。

東ティモールで作られたコーヒーは、
「ピースコーヒー」としてPWJが販売しています！

ピースコーヒー PWJ

検索



ボンディア!!
(現地語で「おはよう」)

収穫時期の1日

6:30 起床

標高約1500m。PWJのレテフォホ事務所兼宿舍の玄関を開け
ると、眼下には雲海。朝焼けに目を細めながら、とれたてのレテ
フォホ産のコーヒーを飲み、近所のおばさん特製の砂糖揚げバ
ンをかじる。



12:00 ランチ

レテフォホには食堂がありません。独身の私の胃袋
を満たしてくれるのが、事務所の警備員として15年
勤務するアグスさん(40)の料理です。この日は青菜
の煮物と厚揚げのピリ辛トマト炒め、おかずとして
焼きそばもご飯に乗っています。味付けが絶妙で白
米にぴったり！生産者と食卓を囲むこともあります。

会議 17:00

レテフォホから車で3時間、首都ディリに。事務所でデスク
ワークを済ませ、海沿いにあるPWJが運営するカフェへ。
会議ではスタッフ全員の得意分野を生かしながら、発言し
やすい雰囲気づくりを心がけています。スタッフの誕生日
には会議後にみんなで祝い。



24:00 就寝

Specialty
Coffee



from IRAQ

イラク/シリア難民支援

ゼン君 (小学5年生)

学校健診で正しい歯磨きと手洗
いを教えてくれました。将来、僕も
お医者さんになって、学校の子ど
もたちに正しい手洗いや歯磨き
の大切さを教えたいです！



from KENYA

ケニア/南スーダン難民支援

ナルトエデンファイルさん (46歳)

PWJから仮設のシェルターの提供を受
けました。生活には欠かせないものな
ので、支援してもらえて大変うれし
い。PWJスタッフの誠実で透明性の高い仕
事ぶりは素晴らしい。



from HAITI

ハイチ/ハリケーン被災者支援

バスターマルクセントジョージさん

PWJが支援したトタン板とツールキットで
ハリケーンで破損した自宅の修復が行えま
す。ツールはこれからも大切に使用してい
きます。ありがとうございました。



ネパール/大地震被災者支援

from NEPAL

デウマヤ・リンブーさん (50歳)

2015年の地震直後は借家で大きな音の出る機
織り機を使うことを嫌がられていましたが、PWJ
が建ててくれたコミュニティセンターで仕事で
できるようになり、仲間と一緒におしゃべりしなが
ら働けるようになって嬉しい。



仕事をもらえ
るだけで救
われる!!

from UGANDA

ウガンダ/南スーダン難民支援

ジャマールさん (28歳)

ビディビディ難民居住地区でPWJのトイ
レ建設事業に雇ってもらっている。難民を
「苦しむだけの存在」と思わないでほしい。
仕事をもらえるだけで、救われるんだ。



from HIROSHIMA

子どもができたの
と同じ分です!!

広島/動物保護活動

鹿林 正さん、由香里さん
保護犬だった「おんぶ」を家族
に迎え、毎日が素敵になりました。
最初は震えていたけれど、
少しずつ私たちの目を見てくれ
るようになり、今では寄り添っ
て寝てくれたり、顔をいっぱい
なめてくれたり。子どもがで
きたのと同じ気分です。

from TOHOKU



PWJのおかげで
前向きになれました!!

東北/東北復興支援

山内 さえ子さん (69歳)

今も仮設住宅で暮らしていますが、3年前からPWJ
が支援する手工芸の講習に参加しています。作業
をしながら、他のメンバーと好きなテレビ番組の話を
したり、暮らしの悩みを相談したりするのが楽しい。
PWJのおかげで前向きになりました。子どもや
孫たちのためにも、長く、元気でいたい。

THANK YOU MESSAGE FROM

2016年に支援を届けた
みなさんからの声



from MYANMAR

ミャンマー/難民帰還促進支援 マサミエさん (50代)

以前はバイクやトラクターで村の外にある川に水を汲み
に行っていました。PWJが建設した管井戸施設に繋がら
れた水道施設のおかげで、家の近くで安全な水供給が
可能になり、毎日の水汲みがとても楽になりました。

from SAGA

日本/地域活性化

副島 太郎さん (69歳)

PWJの支援でバリ開催の国際工芸フェア
「レベラジョン2017」に佐賀の伝統工芸「肥
前びーどろ」を出展するため、フランス人デ
ザイナーとコラボしました。色々なアドバイスを
もらい、挑戦意欲がかき立てられました。

将来は歯医者に
なりたい!!

仲間と一緒
に働ける
ようになって
嬉しい!!

支援してもら
えて嬉しい!!

自宅の修
復が
できました!!

毎日の水汲
みが
楽になりました!!

バリで佐賀の
伝統工芸を
展示!

活動報告

Activity Report 2016

IRAQ(SYRIA) / イラク(シリア)
 PALESTINE・GAZA / パレスチナ・ガザ
 AFGHANISTAN / アフガニスタン
 UGANDA / ウガンダ
 SOUTH SUDAN / 南スーダン
 KENYA / ケニア
 EAST TIMOR / 東ティモール
 HAITI / ハイチ
 SRI LANKA / スリランカ
 MYANMAR / ミャンマー
 NEPAL / ネパール
 MONGOLIA / モンゴル
 KUMAMOTO / 熊本地震被災者支援
 TOHOKU / 東日本大震災被災者支援
 PEACE WANKO / ピースワンコ・ジャパン事業
 HIROSHIMA・SETOUCHI・SAGA / 地域再生事業

PWJが設置したばかりの水タンクから水をくむ子どもたち(ウガンダの難民居住地区)

IRAQ(SYRIA)

〔イラク(シリア)〕 活動期間 1996年～現在

学校や給水設備などを
利用できるようになった
国内避難民数

約150万人



「学びたい」を叶える。難民キャンプの子どもたちに小学校を建設

イラク国内はいま、「イスラム国」の攻勢にさらされており、約300万人が避難生活を余儀なくされています。また、隣国シリアの内戦から逃れてきたシリア難民も約23万人にのぼっています。PWJは2016年度、イラク北部を拠点として、シリア難民や国内避難民のキャンプ内外で教育・水衛生設備を整備し、仮設住宅を建設。彼らを受け入れているホストコミュニティに対しても日用品や越冬・越夏のための物資を配るなどしています。また、シリア難民児童や国内避難民児童のための学校健診も実施しました。

Photo:[左上]ドホーク州カデア国内避難民キャンプで学校建設を支援し、ブレハブ教室のほか水タンクなど給水設備も設置。[左下]スレイマニア州で国内避難民とホストコミュニティを対象に、越冬のための灯油を配布。[右]カデア国内避難民キャンプでPWJが建てた校舎前で笑顔を見せる子どもたち

PALESTINE・GAZA

〔パレスチナ・ガザ〕 活動期間 2015年12月～現在

短期雇用創出事業に
取り組んだ
若者の数

725人



Photo:教育分野での活動の様子

若者たちに仕事の機会を提供。 教育、農業など地域にも相乗効果

2014年の紛争で甚大な被害を受けたガザ地区では復興が進まず、経済も閉塞状態が続いています。紛争で被害を受けた世帯の生活改善を目指し、現地の若者たちに市民団体で有給職員として働いてもらう短期雇用創出事業を実施しました。紛争被害が大きかったガザ北県、カーン・ユヌス県、ラファ県では2015年12月から2017年1月、計725人の若者が教育、医療、福祉、農業の分野で市民活動に参加し、約4万人の地域住民が恩恵を受けました。

AFGHANISTAN

〔アフガニスタン〕 活動期間 2001年～現在

広がれ市民社会の輪。現地NGOのネットワークと能力向上を支援

日本のNGOなどと連携し、全19県の市民組織に事業運営に関する研修を実施しました。11月には現地から団体スタッフ5人を日本に招きました。アフガニстанは人権や難民、食糧不足など多くの問題に直面していますが、政府の統治力が脆弱なことなどから、市民組織の役割が期待されています。事業を通じ、各地域の市民組織が様々な事業を自力で展開できる力を身につけてもらうのが目的です。

事業運営の研修などを受けた現地NGOのスタッフ数

3,634人

UGANDA

〔ウガンダ〕 活動期間 2016年8月～現在



押し寄せる南スーダンからの難民。居住区に水タンク10基を設置

ウガンダは2016年7月に隣国南スーダンで起きた内戦をきっかけに、南スーダンから多くの難民を受け入れています。ホストコミュニティとの共存を目指す積極的な受け入れ制度を導入しているため、南スーダン難民の受け入れ先としては最多です。PWJは内戦直後から調査し、12月から約27万人が身を寄せるビディビディ難民居住地区で給水・衛生事業を開始。10,000Lの水タンク10基を設置し、難民の給水ポイントとして利用されています。

Photo: PWJがビディビディ難民居住地区に設置した水タンク

水タンクを利用できるようになった難民数

22,500人

SOUTH SUDAN

〔南スーダン〕 活動期間 2006年～現在



Photo: 修理した井戸を使う小学生たち

トイレ、シャワーなど衛生環境を整備。感染症予防の研修も

首都ジュバ市内の避難民キャンプと周辺コミュニティに加え、ジョングレイ州ボー地域にも範囲を広げ、トイレやシャワー室などの衛生施設設備やコレラ予防の清掃・消毒活動、安全な水の供給にあたりました。周辺のコミュニティや小学校では、住民から選ばれた衛生普及員や小学生向けに接触感染の予防などに関する研修を開催。衛生知識を地域に広めることで、雨季に蔓延していたコレラを予防する成果をもたらしています。

水や衛生の支援を受けた国内避難民と周辺住民数

164,073人

KENYA

〔ケニア〕 活動期間 2012年～現在



Photo: 仮設住宅で暮らす子どもたち

安心できる住まいを。長期化する難民キャンプで仮設住宅を建設

2016年度は、ダダーブとカクマの難民キャンプで仮設住宅を建設しました。どちらもケニアをイメージする大自然のようではなく、砂漠のような大地にあります。ソマリア難民約28万人が身を寄せるダダーブキャンプでは2,236戸、南スーダン難民を含む隣国の難民15万人以上が暮らすカクマキャンプでは2,269戸をそれぞれ建てました。各キャンプの難民たちは「狭いながらも我が家」と感じているようです。

仮設住宅の提供を受けた世帯数

4,505世帯

EAST TIMOR

〔東ティモール〕 活動期間 2003年～現在



Photo: 東ティモールのコーヒー品評会でグランプリに輝いたピースコーヒーの生産者

現地スタッフ育成研修を実施。ピースコーヒーが品評会でグランプリ

現地スタッフ育成のため、海外からコーヒーの専門家を招き、豆の栽培方法やコーヒーの淹れ方、焙煎方法に関する研修を実施しました。現地スタッフは徐々にコーヒーの味や品質を自ら評価できるようになっています。また、農家には豆の新しい乾燥方法を提案しました。現地で初開催されたコーヒーの品評会では、PWJが支援する6つの集落のピースコーヒーがグランプリを含む10位以内の入賞を果たしました。

PWJが支援したコーヒー生産者数

540世帯
(3,780人)

HAITI

〔ハイチ〕

活動期間 2016年10月～現在



ブランケットや
ブルーシートなどを
配布した世帯数

3,500世帯

いち早くスタッフ派遣し、現地で緊急支援を展開

PWJは昨年10月にハイチを直撃したハリケーン「マシュー」を受け、直後に現地入りしました。家屋が全半壊した500世帯にブルーシートやブランケットを、周辺地域3,000世帯に手洗い用と洗濯用の石鹸を配布しました。南県サンジャン・ドゥ・スードなどでは、家屋修復のためのトタン板や釘、金づちといったセットを665世帯に配布したうえで、トタン板の正しい設置方法や修理用具の使い方を伝えるワークショップも開きました。

Photo:[左]PWJから屋根修復キットを受け取った被災者。[右]ハリケーン被害に遭った家屋

SRI LANKA

〔スリランカ〕

活動期間 2009年～現在



Photo:組合のブランド米を紹介する理事

安定した収入を。 内戦後の帰還難民をサポート

東部州トリンコマレ県で2014年から、農家自らが安定した収入を得られるように農業・酪農業のビジネスをサポートしています。2016年度は支援先の農家の協同組合が、東部州農業省主催の展示会に栄養価が高い有機伝統米を出品したり、アイスクリームなどを販売したりしました。2軒目の精米所事業も開始し、2017年3月から本格的に稼働する予定です。組合の意思決定も増え、認知度も高まって収益を生む事業に成長しています。

農業や酪農の支援を
受けた農家の数

520世帯

MYANMAR

〔ミャンマー〕

活動期間 2013年～現在



Photo:避難訓練の様子

帰還難民に備え、給水施設を整備。 洪水対策も重視

民族紛争で故郷を離れた避難民の帰還に備え、カレン州の43村60ヵ所で井戸や自然流下式水道の建設・修繕をしました。村人が給水施設の運営を学ぶ講習や、ポンプやエンジンなどの修理方法を習得する研修も実施し、2016年度には129人が参加しました。また、雨季には河川の氾濫による洪水が多発するため、住民や行政、地元NGOが参加する早期警戒システムの構築や避難訓練などを各地で進めています。

水や衛生、防災の支援を
受けた人数

33,000人

NEPAL

〔ネパール〕

活動期間 2015年4月～現在



Photo:織物を作る女性

大地震から2年。 復興に向けた生活再建をサポート

2015年の大地震から2年が経ちました。深刻な被害を受けたシンドウパルチョーク郡では、地震で破損した給水施設の修復と、安全な住宅再建を目指した耐震技術の研修を実施。安全かつ、乾季でも安定した水量を確保できるようになりました。女性たちが自宅で伝統的な織物を製作していたバクタプル郡では、被災した自宅に代わる製作場所として、コミュニティセンターを建設。大きな機織り機を使った製作を安心して再開できるようになりました。

コミュニティセンターを
活用した女性の数

96人

MONGOLIA

〔モンゴル〕

活動期間 1996年～現在



Photo:VCCで生活する子どもたち

孤立した子どもに寄り添う支援を

親の死亡や育児放棄、貧困などで孤立した子どもたちの支援を、保護施設「ベルビスト・ケアセンター（VCC）」を通じて続けています。施設には今も約40人の子どもたちが暮らしており、将来自立して社会に出ていけるように教育や訓練を受けています。

教育支援を受けた
子どもの数

40人

KUMAMOTO

🇯🇵 〔熊本地震被災者支援〕 活動期間 2016年4月～現在



地震翌日から被災地で捜索活動。ペット同伴世帯の支援も展開

2016年4月、災害救助犬とレスキューチームが出動し、被災した熊本県の益城町と南阿蘇村で行方不明者の捜索にあたりました。益城町では2カ所にテント84張を設置し、ペット同伴可能な避難所を運営。夏にはエアコン完備のプレハブ80戸などを開設しました。避難所には犬と猫の一時預かり所やドッグランも併設し、ペット連れが安心できる環境をつくりました。これらに、5カ月半で延べ133世帯421人、ペット155頭が避難しました。

Photo:[左]捜索活動にあたるPWJのレスキューチームや救助犬。[右]PWJの避難所にペットと避難した被災者たち

TOHOKU

🇯🇵 〔東日本大震災被災者支援〕 活動期間 2011年～現在



Photo:PWJが支援を続ける交流施設で手芸などを楽しむ住民たち

高齢者の活動の場づくり。 様々な講習会や仕事紹介を実施

東日本大震災から丸6年。PWJは宮城県南三陸町の現地NPOの活動をサポートする形で、地域のコミュニティ支援を続けています。南三陸町では避難生活に終わりが見え始めていますが、新たな地域でのコミュニティ形成が課題となっています。PWJは2015年6月に完成した交流施設を拠点として、高齢者や定年退職した世代の住民たちに陶芸や習字など様々な活動ができる機会を提供したり、地域の仕事を紹介したりしています。

PEACE WANKO JAPAN

🇯🇵 〔ピースワンコ・ジャパン事業〕 活動期間 2010年～現在



保護した犬の数
1,379頭

譲渡センターを拡充。人材育成のスクールも開校

広島、湘南に続く3カ所目の譲渡センターを東京都世田谷区に開設。犬舎も増設し、昨年4月以降、広島県の犬の「殺処分ゼロ」を維持しています。こうした取り組みが評価され、日経ソーシャルイニシアチブ大賞を受賞しました。人気バンドSEKAI NO OWARIとのコラボが始動したほか、8月にはアニマル・ウェルフェアサミットを共催。10月には人材育成のスクールを開校しました。災害救助犬とレスキューチームの育成にも努めています。

Photo:[左]ピースワンコ・ジャパン事業のスタッフたち。[右]保護犬を引き取った家族

HIROSHIMA・SETOUCHI・SAGA

🇯🇵 〔地域再生事業〕 活動期間 2012年～現在



神石高原町の特産ショップをオープン。瀬戸内海の豊島でリヒター作品を公開

広島県神石高原町では「神石高原ティアガルテン」の運営支援に加え、地元の特産品ショップとデリカを併設した店「マルクトプラッツ」を4月にオープン。観光地の帝釈峡のPR強化にも取り組みました。また、アートを一つの観光振興の起爆剤として、瀬戸内海の無人島・豊島(とよしま)でドイツの現代芸術家ゲルハルト・リヒターの立体ガラス作品を一般公開したほか、佐賀県では肥前びーどろ、佐賀錦などの伝統工芸の新しい販路開拓や商品開発を目指しています。ふるさと納税を通じたPRを採り入れ、ポータルサイト「ピースクラフツSAGA」(<http://peace-crafts.org>)も開設しました。

Photo:[左]マルクトプラッツのスタッフ。[右]瀬戸内海に浮かぶ豊島

How to support 支援方法

PWJの活動は、皆さまのご寄付に支えられています。活動方針である「必要な人びとに必要な支援を」を実現するため、ご寄付やふるさと納税、ボランティアなど、様々な方法で皆さまのご支援やご協力を募っております。

PWJの活動全般を支援する

ピースサポーター

月々 1,200円～



毎月の継続的なご寄付により、自然災害の被災者や紛争による難民などに必要な支援を届け、長期的に支えていただく支援プログラムです。ご寄付は現地のニーズに合わせて大切に使用させていただきます。サポーターの皆さまに対しては、各事業地の活動を掲載した年次報告書や年4回のニュースレターを定期的にご送付します。

東ティモールのコーヒー生産者を支援する

コーヒーサポーター

月々 500円～



東ティモールのコーヒー生産者の自立と現地の人たちの生活改善を目的としたプログラムです。1年間継続していただいた方には、「ピースコーヒー」のドリップパック2袋のサンプルとレポートをお届けいたします。

その他のご寄付

クリック募金

ウェブサイト内のボタンをクリックするだけで寄付ができる「クリック募金」。スポンサー企業が代わりに寄付をするので、支援者の皆さまには一切お金がかかりません。JWordクリック募金、社会貢献サービス「gooddo」など。

ブックキフ

ブックオフコーポレーションの協力により、不要になった本・CD・DVD・ゲームソフトなどを無料集荷の上、買取金額がPWJに寄付されます。

その他

書き損じはがきや未使用切手をお送りいただく「ハガキフ」、スマートフォンで料金と一緒に寄付ができる「かざして募金」、ギフトカタログで選ぶギフト寄付、インターネット寄付などがあります。詳細はWEBの「寄付する」をご覧ください。

① 1回の寄付からでも

支援をしたいタイミングで、寄付額や支援目的を選んでご寄付していただけます。銀行振込、郵便振替、クレジットカードでのお支払い等が可能です。

② 寄付控除の対象です

PWJは「認定NPO法人」として広島県に認定されています。これによりPWJへのご寄付は寄付金の税金控除の対象となります。※正会員会費は対象外です。

災害救助犬育成、殺処分ゼロに向けた保護活動を支援

ワンだふるサポーター

月々 1,000円～



ピースワンコ・ジャパン事業を継続的にご支援いただくプログラムです。ご寄付は、保護した犬の新しい飼い主が見つかるまでの飼育（食事代や医療費など）や災害救助犬・セラピー犬の育成などの費用に使わせていただきます。サポーターの皆さまには年3回のニュースレターをお届けいたします。

ワンだふるファミリー

月々 一口3,000円～



殺処分から救った犬の中には、高齢や病氣などを理由に、長い間家族に恵まれない犬がいます。そんな犬たちを遠方から支えていただく会員制度です。サポーターの皆さまには、ニュースレターや誕生日カード、ブログを通して犬の近況報告などをお伝えいたします。

ふるさと納税



広島県神石高原町へのふるさと納税で、全国の犬猫の「殺処分ゼロ」に向けた活動をご支援いただけます。2015年度から税金の控除額が約2倍、確定申告が不要になり、よりお手軽な支援が可能となりました。ポータルサイト「ふるさとチョイス」からもお申込みいただけます。

詳細はピースワンコ・ジャパンWEBサイトから。

ピースワンコ 寄付

検索

<http://peace-wanko.jp/donation>

ふるさと納税 殺処分0

検索

ふるさとチョイスのWEBサイト <http://www.furusato-tax.jp/gcf>

私たちの「殺処分ゼロ」とは、動物愛護センターに持ち込まれる犬のうち、愛護センターの獣医師の診断でもう助からないと判断され、安楽死させられたり、センター内で病死してしまったりした犬を除く殺処分対象の犬をすべて引き取り、いわゆるガス室を使った無差別的な処分を止めることです。私たちは愛護センター側に対し、これらの犬を殺処分する前に必ず私たちに連絡するよう依頼しています。

私たちは、県や市の愛護センターからの犬の引き取り、訓練、譲渡、飼い主の意識啓発、他の活動団体への助成等に取り組んでいます。動物保護活動には様々な考え方がありますので、譲渡や繁殖制限などを含む私たちの活動方針についてもぜひ一読いただき、ご理解のうえご支援をいただけますと幸いです。
▶ http://peace-wanko.jp/action_policy.html

ボランティア

PWJは平日の事務所で作業（フェアトレード商品のラッピングなど）や、イベントのお手伝い、保護犬の飼育などをしていただくボランティアを募集しており、学生からシニア世代まで多くの方に社会貢献活動として取り組んでいただいています。翻訳やデザイン、ライティングなど職業上持っている知識やスキルを生かしたプロボノもあります。

③ ご寄付は大切に使います

皆さまからのご寄付は、世界中の支援を必要としている人々のために大切に使用させていただきます。2016年度は、全収入のうち92.6%を事業費に、7.4%を管理費等に使わせていただきました。



詳しくは、PWJのWEBサイト、もしくは支援者サービス係までご連絡ください。

ピースウィンズ 寄付

検索

☎ 03-5738-8022 平日 9:00～17:00

Supporter

企業や団体からのご支援

PWJは企業や団体の皆さまを大切なパートナーと考え、連携を重視しています。
今後も企業や団体の皆さまと連携を深めていけるよう、より社会に貢献できる活動を目指します。

2016年度高額寄付、協力企業・団体



日本たばこ産業株式会社 / 一般財団法人ジャパンギビング / ダイレクト出版株式会社 / AIGジャパン・ホールディングス株式会社 / 生活協同組合バルシステム東京 / peace winds AMERICA / 株式会社 ゼンショーホールディングス / GMOインサイト株式会社 / アビデ株式会社 / メットライフ生命保険株式会社 / シヤディ株式会社 / 日本オラル株式会社 / 公益社団法人アニマル・ドネーション / 日興アセットマネジメント株式会社 / 日興AM従業員チャリティプログラム / バカラ・パンフィック株式会社 / クリフォードチャンス法律事務所外国法共同事業 / FCAジャパン株式会社 / SMFLキャピタル株式会社 / 丸中製菓株式会社 / 株式会社 電巧社 / 株式会社祐真 / 三菱電機関連労働組合連合会 / 株式会社 有隣堂 / 日本ロレアル株式会社 / EVOLUTION FINANCIAL GROUP / MERCY CORPS / UBSグループ(UBS証券株式会社、UBS銀行東京支店、UBSアセット・マネジメント株式会社) / 株式会社カラース GREEN DOG / 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団 / 株式会社ブレイリードッグ / 三菱樹脂株式会社 / 株式会社ホットスタッフ・プロモーション / Yahoo!ネット募金 / リコー社会貢献クラブ・FreeWill / J.S.Foundation / 浄土宗平和協会 / 株式会社ユナイテッドアローズ / リコージャパン株式会社 / プレマ株式会社 / 株式会社waja / Cafebar mJm / 三井化学株式会社 / 株式会社ロワール / 東栄産業株式会社 / 株式会社ベネフィット・ワン / メサコ・メッセフランクフルト株式会社 / 株式会社エイチアールインスティテュート / 株式会社ノードコミュニケーション / SAS Institute Japan株式会社 / JAMMINアイテム購入者一同 / NGOサポート募金(JANIC) / 株式会社セールスフォース・ドットコム / JXTGエネルギー株式会社 / NPO法人ベースボール・レジェンド・ファウンデーション / 株式会社ワットマン / 社会福祉法人クビド・フェア / 株式会社 メディコム / 株式会社ブランジェクナカデ / 日本ロレアル株式会社 / プラント・ジャパン株式会社 / 株式会社Roms

企業連携の事例

ピースコーヒーの社内販売会開催



ジョンソンコントロールズ株式会社さんで東ティモール産フェアトレードコーヒーの販売会を実施。社員さんが持ち寄った古本の収益も寄付金としていただきました。

ワンコのお世話ボランティア派遣



ペットフード企業の社員さんがボランティアで広島県神石高原町まで来られ、保護犬の散歩や犬舎の掃除などを手伝って下さいました。

熊本地震の被災地にボランティア派遣



佐賀県の株式会社ミズさんは熊本地震の被災地に薬剤師さんを派遣し、避難所で衛生面の指導や清掃活動などを行って下さいました。

About us

団体情報

ビジョン・ミッション

ビジョン

人びとが紛争や貧困などの脅威にさらされることなく、希望に満ち、尊厳を持って生きる世界をめざします。

ミッション

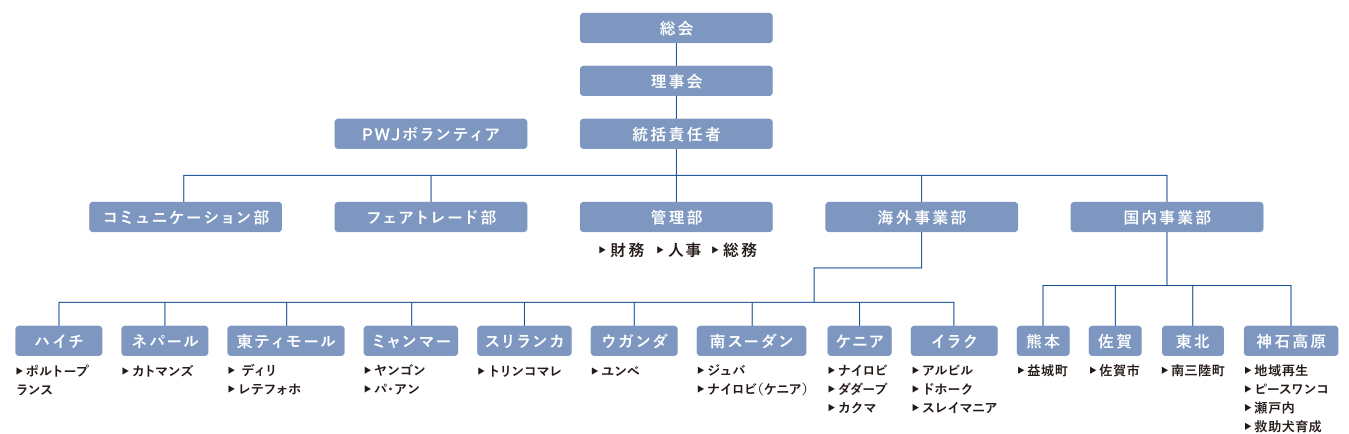
紛争や自然災害などにより、生命が脅かされている人びとに対し、迅速に緊急人道支援を行います。
社会的基盤の崩壊などにより、困窮している人びとに対し、自立のための復興・開発支援を行います。
支援地での活動を通じ、紛争の予防および解決に取り組みます。
支援の必要性に対する情報を発信し、市民の関心を喚起します。
援助システムをより効果的にするための提言を行い、その改善に取り組みます。

団体概要

2017年1月末時点

名称	特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン
設立	1996年2月
法人格取得	1999年10月
スタッフ数	計290人(本部契約スタッフ70人、事業別契約スタッフ220人)
役員	代表理事 大西 健丞
理事	石井 宏明 渋谷 健司 三宅 登志子 山本 理夏 桑名 恵
監事	川合 孝一

組織図



メディア掲載

2016年度も新聞、テレビ、雑誌などで活動が紹介されました。

3月	広島県の殺処分対象犬の全頭引き取りについて、朝日新聞、読売新聞、NHKなどが紹介
4月	熊本地震被災地へのレスキューチーム派遣、ペット同行避難の支援について、新聞各紙などが紹介。NHKがBS1のネパール地震1年特集でPWJの活動を紹介
5月	日経新聞でPWJの日経ソーシャルイニシアチブ大賞受賞について紹介。雑誌「CasaBRUTUS」が瀬戸内海の地域振興事業(リヒター作品公開)を紹介
6月	ふるさと納税を活用した取り組みを日経新聞やテレビ朝日などが紹介
7月	佐賀新聞がPWJの佐賀事務所開設を紹介
8月	熊本地震支援の一環で開催した陶器市を佐賀新聞が紹介

8月	熊本地震支援の一環で開催した陶器市を佐賀新聞が紹介
9月	朝日新聞広島版の「ひと」欄で国内事業部長の園田を紹介
10月	人気バンド「SEKAI NO OWARI」とピースワンコ・ジャパン事業が連携したプロジェクトを日本テレビや朝日新聞などが紹介
11月	米大リーグの前田健太投手とピースワンコ・ジャパン事業が組んだチャリティイベントを、新聞やテレビ各社が紹介。韓国の朝鮮日報が大西代表理事のインタビューを通じてPWJの活動を紹介
12月	朝日新聞や東京新聞などが世田谷譲渡センター開設について紹介

第18期事業年度 特定非営利活動に係る事業 活動計算書 2016年(平成28年)2月1日から2017年(平成29年)1月31日まで

資 産			負債及び正味財産		
科 目		金 額（円）	科 目		金 額（円）
Ⅰ 資産の部			Ⅱ 負債の部		
1 流動資産	現金預金	405,927,819	1 流動負債	仮受金	207,876
	海外現金預金	246,240,735		未払金	143,145,913
	売掛金	5,179,539		預り金	19,556,478
	商品	39,903,616		前受金	15,428
	未収入金	143,428,219		短期借入金	150,000,000
	立替金	1,510,178		1年内返済予定長期借入金	67,356,000
	前払金	9,110,636		前受助成金等	846,399,253
	前払費用	1,200,000		未払法人税等	416,100
	仮払金	65,765,626			
	未収補助金等	8,929,694			
流動資産合計		927,195,862	流動負債合計		1,227,097,048
2 固定資産	建物	392,874,511	2 固定負債	退職給付引当金	15,406,200
	建物付属設備	82,817,540		リース債務	22,309,860
	構築物	26,937,595		長期未払金	9,788,800
	車両運搬具	27,110,597		長期借入金	169,752,000
	工具器具備品	41,845,182	固定負債合計		217,256,860
	機械装置	269,048	負債の部合計		1,444,353,908
	船舶	1,804,225	1 正味財産		
	生物	409,573		前期繰越正味財産額	304,646,224
	土地	4,770,633		当期正味財産増減額	▲ 74,386,691
	リース資産	20,007,925	正味財産		230,259,533
	建設仮勘定	26,165,000			
	有形固定資産計	625,011,829			
	電話加入権	385,392			
	商標権	139,637			
	ソフトウェア	185,475			
	水道施設利用権	418,456			
	無形固定資産計	1,128,960			
	子会社株式	5,294,700			
	投資有価証券	41,000,000			
	長期貸付金	63,300,000			
	長期前払費用	1,877,867			
	敷金及び保証金	9,804,223			
	投資その他の資産計	121,276,790			
固定資産合計		747,417,579	正味財産の部合計		230,259,533
資産の部合計		1,674,613,441	負債の部及び正味財産の部合計		1,674,613,441

PWJは、高塚公認会計士事務所、
ファーサイト公認会計士共同事務所による
外部監査を受けております。

第18期事業年度 財務諸表の注記

1. 重要な会計方針 財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日・2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法	最終仕入原価法を採用しております。
(2) 固定資産の減価償却の方法	有形固定資産の減価償却方法は定率法（但し平成10年4月1日以降に取得した建物（定額法）、リース資産については、リース期間定額法を採用し、耐用年数は税法基準を採用しております。
(3) 引当金の計上基準	退職給付引当金 退職給付引当金は期末在職職員の「自己都合による退職時の要支給額（100％）」を計上しております。
(4) 外国通貨の換算方法について	外貨建取引については各月の平均レートにより円換算しております。 外国通貨及び外貨建金銭債権債務については期末日のレートにより円換算しております。
(5) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理	施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上しています。 また計上額の算定方法は「4. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。
(6) 消費税等の会計処理	消費税等及び地方消費税は税込方式によっております。

2. 事業別損益の状況 別紙「事業内訳」参照

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

内容	金額（円）	備考
物品・現物等寄付収益	4,383,955	市場価格等により算出
固定資産受贈益	50,000	査定会社の査定額より算出

4. 使途等が制約された寄付金等の内訳 使途等が制約された寄付金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。当法人の使途が制約されていない正味財産は198,513,821円です。

内容	期首残高（円）	当期増加額（円）	当期減少額（円）	期末残高（円）	備考
民間助成金	0	1,610,992,247	1,610,992,247	0	入金額は1,906,828,427円。未使用分は前受処理している
国連等補助金	0	1,256,494,330	1,256,494,330	0	入金額は1,251,075,375円。未使用分は前受処理している
その他補助金	0	385,642,476	385,642,476	0	入金額は260,466,419円。未使用分は前受処理している
会費・寄付金及びふるさと納税交付金（保護犬事業）	153,583,538	666,358,449	819,941,987	0	当期増加額の内136,728,000円は未収入金処理している
寄付金及びふるさと納税交付金（熊本事業）	0	117,087,701	108,522,413	8,565,288	残高は翌期に繰り越し、被災者支援事業に使用予定
特定目的寄付金（ネパール）	33,524,514	650,221	10,994,311	23,180,424	残高は翌期に繰り越し、被災者支援事業に使用予定
合計	187,108,052	4,037,225,424	4,192,587,764	31,745,712	

5. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額（円）	取得（円）	減少（円）	期末取得価額（円）	減価償却累計額（円）	期末帳簿価額（円）
有形固定資産						
建物	114,560,768	308,579,381	0	423,140,149	30,265,638	392,874,511
建物付属設備	34,365,305	74,740,185	7,091,525	102,013,965	19,196,425	82,817,540
構築物	15,214,905	17,129,611	0	32,344,516	5,406,921	26,937,595
車両運搬具	61,799,276	31,302,490	153,914	92,947,852	65,837,255	27,110,597
工具器具備品	26,266,987	48,012,264	30,185	74,249,066	32,403,884	41,845,182
機械装置	1,254,861	0	0	1,254,861	985,813	269,048
船舶	909,860	2,840,000	0	3,749,860	1,945,635	1,804,225
生物	1,050,000	0	0	1,050,000	640,427	409,573
土地	2,947,009	1,823,624	0	4,770,633	0	4,770,633
リース資産	35,412,360	0	0	35,412,360	15,404,435	20,007,925
建設仮勘定	68,374,542	26,165,000	68,374,542	26,165,000	0	26,165,000
有形固定資産計	362,155,873	510,592,555	75,650,166	797,098,262	172,086,433	625,011,829
無形固定資産						
電話加入権	385,392	0	0	385,392	0	385,392
商標権	1,990,938	128,652	0	2,119,590	1,979,953	139,637
ソフトウェア	4,720,821	0	0	4,720,821	4,535,346	185,475
水道施設利用権	201,000	301,000	0	502,000	83,544	418,456
無形固定資産計	7,298,151	429,652	0	7,727,803	6,598,843	1,128,960
投資その他の資産						
子会社株式	4,500,000	794,700	0	5,294,700	0	5,294,700
投資有価証券	40,000,000	1,000,000	0	41,000,000	0	41,000,000
長期貸付金	60,000,000	3,300,000	0	63,300,000	0	63,300,000
長期前払費用	0	2,012,000	0	2,012,000	134,133	1,877,867
敷金及び保証金	7,558,384	2,454,839	209,000	9,804,223	0	9,804,223
投資その他の資産計	112,058,384	9,561,539	209,000	121,410,923	134,133	121,276,790
合計	481,512,408	520,583,746	75,859,166	926,236,988	178,819,409	747,417,579

6. 借入金の増減内訳

内容	期首残高（円）	当期借入（円）	当期返済（円）	期末残高（円）	備考
短期借入金					
(株)広島銀行	100,000,000	150,000,000	100,000,000	150,000,000	
(株)中国銀行	100,000,000	0	100,000,000	0	
短期借入金計	200,000,000	150,000,000	200,000,000	150,000,000	
長期借入金					
(株)広島銀行	53,000,000	110,000,000	20,332,000	142,668,000	うち、33,996,000円は1年内返済予定長期借入金
(株)中国銀行	0	100,000,000	5,560,000	94,440,000	うち、33,360,000円は1年内返済予定長期借入金
長期借入金計	53,000,000	210,000,000	25,892,000	237,108,000	
合計	253,000,000	360,000,000	225,892,000	387,108,000	

7. 役員及びその近親者との取引の内容 役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

項目	財務諸表に計上された金額（円）	内役員及び近親者との取引（円）
一般社団法人 アジアパシフィックアライアンス代表理事 大西健丞		
(活動計算書)民間助成金	1,610,992,247	5,689,556
業務委託収益	6,430,211	2,500,000
地代家賃	54,986,373	5,619,648

項目	財務諸表に計上された金額（円）	内役員及び近親者との取引（円）
特定非営利活動法人 瀬戸内アートプラットフォーム代表理事 大西健丞		
(貸借対照表)長期貸付金	63,300,000	60,000,000

項目	財務諸表に計上された金額（円）	内役員及び近親者との取引（円）
特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム代表理事 大西健丞		
(活動計算書)民間助成金	1,610,992,247	1,577,020,955

項目	財務諸表に計上された金額（円）	内役員及び近親者との取引（円）
代表理事 大西健丞		
(貸借対照表)借入金連帯保証	—	387,108,000

項目	財務諸表に計上された金額（円）	内役員及び近親者との取引（円）
株式会社アシュティ・アンド・カンパニーズ代表取締役 大西純子		
(活動計算書)外注費	183,675,017	3,930,000

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

事業費と管理費の按分方法 管理部職員のうち各事業へ従事している者の人件費は、従事割合で、事業費に振り替えております。
その他経費のうち、各事業の直接経費については直接事業費としております。

第18期事業年度 財務諸表の注記事業別 2016年2月1日～2017年1月31日まで

(単位:円)											
科目	1	2	3	4	5	6	事業計	管理	合計		
	紛争、災害等起因する人道上の危機に際し生命・生活を守るための緊急人道支援、及び地域の復興と経済的自立のための復興・開発支援を行う	農業・観光をはじめとする産業の育成と復興、地域医療、福祉施設、動物と人が触れ合う場の提供など、人と動物の共生をめざす動物愛護の活動を行うこと	犬・猫の殺処分を減らすための犬・捨て猫等の保護及び譲渡、動物と人が触れ合う場の提供など、人と動物の共生をめざす動物愛護の活動を行うこと	政府、企業、国際機関等と協力し、紛争の予防と解決、及び災害の発生に際する活動的な役割作りに取り組むとともに援助システムを含む社会の様々な側面しこみの改善を行うこと	機関紙・書籍の発行、報告会講演会の開催	前記の各事業を行うための資金を調達すること、及び新しい資金供給のしくみを構築すること					
I 経常収益											
1. 受取会費	593,500	0	124,683,160	0	0	0	125,276,660	37,914,138	163,190,798		
2. 受取寄付金	137,605,543	77,789	66,002,289	0	110,694	0	203,796,315	39,041,799	242,838,114		
3. 受取助成金等	3,170,869,304	96,395,611	475,673,000	629,052	0	0	3,743,566,967	1,400,000	3,744,966,967		
4. 事業収益	125,956,513	10,156,642	20,874,063	48,746	2,257,248	0	159,293,212	429,961	159,723,173		
5. その他収益	1,821,998	293,752	1,408,110	0	0	0	3,523,860	10,998,654	14,522,514		
経常収益計	3,436,846,858	106,923,794	688,640,622	677,798	2,367,942	0	4,235,457,014	89,784,552	4,325,241,566		
II 経常費用											
1. 事業費及び管理費											
給料	174,892,415	38,243,532	75,411,477	12,934,184	9,939,094	0	311,420,702	20,188,097	331,608,799		
賃金	2,217,651	123,303	8,554,808	0	5,485,504	0	16,381,266	764,051	17,145,317		
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	5,227,416	5,227,416		
法定福利費	17,790,261	5,301,168	10,755,896	3,189,041	1,855,351	0	38,891,717	6,054,249	44,945,966		
福利厚生費	1,028,946	1,623	3,100	30,140	0	0	1,063,809	607,098	1,670,907		
海外現地スタッフ人件費	197,836,057	0	0	0	0	0	197,836,057	0	197,836,057		
人件費計	393,765,330	43,669,626	94,725,281	16,153,365	17,779,949	0	565,593,551	32,840,911	598,434,462		
直接事業費	2,510,266,959	544,146	50,160,241	0	194,400	0	2,561,165,746	194,400	2,561,360,146		
仕入高	101,626,703	8,161,883	6,104,570	0	1,121,526	0	117,014,682	0	117,014,682		
地代家賃	33,747,046	3,741,928	13,047,449	0	0	0	50,536,423	4,449,950	54,986,373		
通信費	8,472,372	982,183	2,152,757	200,693	373,273	0	12,181,278	1,903,812	14,085,090		
旅費交通費(海外)	58,348,197	2,219,340	457,372	721,961	0	0	61,746,870	212,644	61,959,514		
旅費交通費(国内)	25,927,633	10,086,155	6,235,617	2,026,772	939,306	0	45,215,483	9,379,984	54,595,467		
外注費	61,551,862	63,050,039	36,881,049	2,539,032	6,763,808	5,184,000	175,969,790	7,705,227	183,675,017		
ふるさと納税お礼関連費用	0	1,259,519	48,389,464	0	0	0	49,648,983	0	49,648,983		
減価償却費	59,501	12,157,249	1,072	0	0	0	12,217,822	52,100,960	64,318,782		
その他経費	141,041,476	45,077,952	211,728,669	773,999	25,637,774	0	424,259,870	27,346,706	451,606,576		
その他経費計	2,941,041,749	147,280,394	375,158,260	6,262,457	35,030,087	5,184,000	3,509,956,947	103,293,683	3,613,250,630		
事業費及び管理費計	3,334,807,079	190,950,020	469,883,541	22,415,822	52,310,036	5,184,000	4,075,550,498	136,134,594	4,211,685,092		
経常費用計	3,334,807,079	190,950,020	469,883,541	22,415,822	52,310,036	5,184,000	4,075,550,498	136,134,594	4,211,685,092		
当期経常増減額	102,039,779	▲ 84,026,226	218,757,081	▲ 21,738,024	▲ 49,942,094	▲ 5,184,000	159,906,516	▲ 46,350,042	113,556,474		